

日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会 三重大会をふりかえって

大会長 三重病院 高村純子

皆様、連日の厳しい暑さが続いておりますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

6月21日・22日に開催された全国大会では、「ソーシャルワーカーって…変わらぬ価値を受け継ぎ、新たな自分へ」というテーマのもと、全国各地から仲間が集まりました。実行委員長・副委員長をはじめ、各リーダー・副リーダー、実行委員、サポーターの皆様、そして大会運営に関わってくださったすべての方々のご尽力、また参加者や応援してくださった皆様の温かい想いと力強いご協力のおかげで、これまでにない貴重な体験を皆で共有し、無事に大会を終えることができました。心より感謝申し上げます。

昨年、医療ソーシャルワーカー協会は創立70周年を迎えました。「最初の5人」から始まったこの協会が、三重の地で全国大会を開催するまでに成長したことは、まさに奇跡のような歩みであり、胸が熱くなります。



襷は三重から岩手へ

全国大会報告

実行委員長 三重大学医学部附属病院 小坂絵里加

2025年6月21日(土)～22日(日)、三重県総合文化センターにて第73回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会、第45回日本医療社会事業学会(三重大会)が開催されました。三重県では初めての開催であり不安も多かったですが、最終的に参加登録は870名を超える結果となりました。また、交流会にも200名以上の参加があり、担当スタッフ力作の企画は大盛況でした。

その裏では少しでも多くの方に三重県まで来てほしいという強い思いのもと、三重県内外から実行委員37名と学生を含む運営サポーター合わせて約110名のスタッフが集結し、当日は特別に大きいトラブルはなく運営することができました。(この人数で当日連絡の遅刻欠席はゼロでした！)三重大会にご参加いただいたみなさま、運営に携わっていただいたみなさま、心よりお礼申し上げます。本当に本当にありがとうございました！



あさいちの満面の笑み

この10年ほどの間に、地域医療構想の進展やコロナ禍という大きな変化を経験し、私たちを取り巻く環境は大きく様変わりしました。そんな今だからこそ、今回の大会は、私たち一人ひとりが自分の役割や価値を見つめ直し、仲間との絆を再確認し、未来へ向けて新たな一歩を踏み出す大切な節目となったのではないのでしょうか。

全国大会の開催は、ゴールではありません。むしろ、ここからが新たなスタートです。医療機関ごとに抱える課題はさまざまですが、「なぜ、医療の現場にソーシャルワーカーが必要なのか」という問いに、これからも真摯に向き合いながら、「生きること」に寄り添う専門職として、私たちは三重県にしっかりと根を張っていきたいと考えています。これからも、皆様一人ひとりの力が存分に発揮できる協会を目指して、共に歩んでまいります。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。



私は今回実行委員長という大役に就かせていただきましたが、このような全国規模の大会運営は未知の世界であり準備の進め方も手探りで、たくさんの方にたくさんご迷惑をおかけしました。それでも最後までやり遂げられたのは、実行委員をはじめ、県内外問わず応援してくれる仲間、家族など傍で支えてくれたたくさんの人たちがいたからです。「ありがとう」がない日はありませんでした。

こんな経験をさせてもらった私は大会終了と同時にMSWとして新たなフェーズに入り、今までの実務経験を活かしつつまた一から勉強することだらけの日々です。MSWでいる限り、いつまでも変わらない価値と変わっていく新たな自分に向き合い、ずっと考え続けていきたいと思います。ソーシャルワーカーとは何なのかを…

三重大会は、37名の実行委員、約110名のサポーター(一般・学生含む)で力を合わせ大成功で幕を閉じました。大会が終わってから実行委員のみなさんに振り返って頂き、今の気持ちを自由に寄稿していただきました。本当に最高のメンバーで作り上げることができた素晴らしい大会でした！



副実行委員長 岡波総合病院 松田 美穂

副実行委員長が3番手としてやるべき役割は何だろう。準備期間の最初の頃はずっとそう思っていたと思います。準備が進むにつれて、3番手だからこそできることがたくさんあるんじゃないかと思えるようになりました。結果として広く多くのスタッフの方と関わらせて頂き、いろんな視点で大会運営について考える機会を頂きました。すべての部会の仕事に関らせて頂き、一番面白いポジションだったのかもしれないと今となっては思います。組織とは何か、その組織を成熟させるために自分ができることは何か、毎日いろんなことを考え、行動する機会となりました。もうこんな機会は二度とないと思います。そして本番2日間の実行委員、サポーターの皆さんの真剣な眼差しや笑顔が忘れられません。儚い夢のごとくあっという間の時間でした。今回知り合えた方々とのご縁も大切に、気持ち新たに医療ソーシャルワーカーとして精進したいと思います。ありがとうございました！

総務 三重大学医学部附属病院 佐々木 知香 (リーダー)

今回、協会全国大会に関わらせていただき、総務のリーダーとしてとても良い経験をさせていただきました。大会を通して、全国の皆様との交流はもちろん、三重県協会のみなさんとのつながりもさらに深まったように感じています。大人になってからも新しい体験ができるなんて、本当に素敵なおほうびをいただいた気分です。出会いは、やっぱり宝物だなあと改めて思いました。そして、これからのソーシャルワーカーの皆様にも是非、こんな経験をしていただきたいなと思いました。全国大会にご参加された皆様や協会の方々、本当にありがとうございました。

総務 三重大学医学部附属病院 鈴木 志保子 (副リーダー)

ソーシャルワーカー人生において、全国大会開催に関わることができ、またシンポジストとして報告の機会もいただき、またとない経験をさせていただきました。ありがとうございました。全国大会にご協力いただいた皆様のあたたかい支援がとても嬉しく、今後の活動の励みになります。感謝申し上げます。

総務 三重大学医学部附属病院 伊藤 法子

三重大会のテーマについてメンバーの皆さんとあれこれ議論したことが懐かしく思い出されます。大会テーマ「ソーシャルワーカーって…変わらぬ価値を受け継ぎ、新たな自分へ」は今も私に問いかけ続けます。「何のためにソーシャルワーカーは存在するのか？」基調講演の冒頭、原田正樹先生がソーシャルワーカーの「変わりゆく価値」から語り始められた時は度肝を抜かれ、優しく穏やかな口調で語られるパラダイムシフトに恐怖すら覚えました。会場を一步出ると広大な三重県総合文化センターを足早に往来する700名を超えるソーシャルワーカーたち、飛び交う議論…。目まぐるしい時代と社会の変容に耐えうるだけのしなやかさと希望がふれ、ひとり高揚したことは忘れません。この場をお借りして大会を創り上げた皆さん、参加された皆さんに敬意と感謝をお伝えたいです！

総務 三重大学医学部附属病院 日当瀬 雅

総務の一員として全国大会に携わらせていただきました三重大学医学部附属病院の日当瀬と申します。これまで協会活動や研修会にはほとんど参加できていなかったため、実行委員の活動で初めてお会いする方が大半だったかと思います。今回、実行委員やサポーターの皆さんと協力して全国大会を成し遂げることができたことは、私にとって非常に貴重な経験になりました。何より、協会の方々や新たなつながりを持つことができ大変嬉しく思っています。このような機会を与えていただきありがとうございました。全国大会は終わってしまいましたが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

総務 みえ川村老健 山田 剛

日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会が無事終了しました。受付・クローク係として参加者を迎える中で、旧交を温める微笑ましい場面にも出迎え、人のつながりの温かさを実感しました。また、講師・前山薫氏による「生き物がつくる宝石『真珠』について」の講演では座長を担当させていただきました。真珠の成り立ちや生物との関係性に焦点をあてた内容は大変興味深く、参加者の評価も非常に高かったです。三重の文化的魅力とMSWの専門性が交わる場として、充実した交流と深い学びの機会に恵まれました。多くの方々と協働できたことに感謝いたします。

企画・プログラム 鈴鹿回生病院 久保 信裕 (リーダー)

大会初日、朝一番に多くのサポーターの皆さんにお手伝いをいただき、机出しやパネル組立など出展準備を行いました。サポーターの皆さんが本当に暑い中、なれないパネル設営などあーだこーだ言いながら汗を流しながら準備いただきました。会場設営完了後に自然と起きた拍手を聞き、この大会はきっと成功する、この大会を三重県で開催してよかったと、心が熱くなりました。ソーシャルワーカーって…手を取り合って目標を達成できる。喜びを共有できる。協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。これが私にとっての全国大会ハイライトです。

企画・プログラム		四日市羽津医療センター 松尾 将太（副リーダー）
		四日市羽津医療センターの松尾です。私は今回、実行委員の企画部を担当させていただきました。講師の先生への打診や打ち合わせなど、不慣れなことも多く、戸惑う場面もありましたが、無事に終えることができて今はホッとしています。学会の運営や企画に関わるのは初めてのことで、非常に貴重な経験をさせていただきました。普段の業務とはまた異なる学びや視点を数多く得ることができ、自分にとっても大きな成長の機会となりました。準備や調整の難しさも含め、とても有意義な経験だったと感じています。ご協力いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
企画・プログラム		老健伊賀ゆめが丘 岩田 麻美（企画交流リーダー）
		「8,000円で損はさせません！」と宣言したものの、初めての経験で、しかもリーダー役…不安だらけのスタートでした。でも当日は、全国から想像以上のご参加をいただき大盛況！無事に終えられたのは、皆さまのご協力のおかげと深く感謝しています。高村会長の「次は三重で！」という熱い言葉を聞いた瞬間、「私もなんかせな！」と気づけば実行委員に手を挙げていました。最初は皆さんのスピード感や視点についていけず、自分にできることを必死で探す日々。そんな中で出会えた多くの仲間や経験、学びは、これからの私にとって大きな財産です。ゼロから生み出す小さなアイデアを、丁寧な話し合いと協力で形にしていく【きゃも活】の時間は本当に楽しく、私の“無茶ぶり”にもノリよく前向きに応えてくれた三重の皆さんに、何度も背中を押していただきました。「めっちゃいいやん三重！」と、感動と感謝の連続だった三重大会。みなさん、ほんまにおおきんな〜！ 企画 交流会リーダーなりきりもしかちゃん、こと岩田あちゃみ
企画・プログラム		小山田記念温泉病院 川口 恵生
		入職間もない頃、当協会毎年恒例の宿泊研修の懇親会で岡波総合病院の方らの出し物を見て感動し、「いつか舞台でコラボしたい…」と片想いを胸に秘めて20余年。企画・交流会担当の一員として「やらずに悔やむより、やって悔やむ」を胸に挑んだ今大会の大舞台で、ついにその夢を叶えることができ、とても嬉しく思います。 また準備期間を通じ様々な困難やトラブル等が立ちはだかる中でも、高村大会長、小坂実行委員長らを中心に、「できるときに、できる人が、できることを」チームとして成し遂げた大会だったと感じています。関わっていただいた全ての皆さんへの感謝と共に、この経験で得た財産をこれからの協会活動や日々の実践等を通じ還元していきたいと思います。
企画・プログラム		済生会明和病院 小宮 明穂
		今回企画部として実行委員会に参加させて頂きました。今まで全国大会に参加したことが無く右も左も分からない中、周りの方々に助けて頂いてなんとかやり遂げられました。三重県医療ソーシャルワーカー協会の方々と一つのもので作りあげるという、なかなか体験できないことをさせて頂き、準備期間から当日まで、とても不思議な気持ちでした。 担当させて頂いた企画ではたくさん反省点がありましたが、会場にはたくさんの方がいらっしやり、無事終えられてほっとしています。実行委員として参加させて頂き、貴重な経験となりました。ありがとうございました。
企画・プログラム		永井病院 隠岐 沙希子
		三重大会では、実行委員として関わらせていただきました。ついていくので精一杯だった私にも、みなさんがやさしく声をかけてくださって、とても心強かったです。長い時間をかけて緻密に準備されてきたみなさんの姿をそばで見ている、本当にすごいなあと感じました。この経験は、私にとって楽しくて、うれしくて、あたたかい時間でした。関わらせてもらえたこと、心から感謝しています！
企画・プログラム		小山田記念温泉病院 八木 美菜子
		企画部会として企画に携わり、シンポジストの方々の想いに触れる機会が多く、感銘を受けることばかりでした。 一人ひとりの声は小さくてもその声を拾ってくれる人がいる、今に留めることなく未来に繋げていこうとする。熱く、温かい想いを持ち支援にあたっている方々に出会うことができ、とても嬉しく思います。 まだまだ半人前ですが、今回の経験をそれだけで終わらせず今後に活かせるよう努めていきたいと思います。この場をお借りして、今回関わっていただいた皆さまに心より感謝申し上げます。
企画・プログラム		大同病院 程川 淳司
		1年前からの大会準備、特に企画に関わらせて頂き、貴重な経験をさせて頂きました。三重県MSWの皆様の団結力の強さが全国に届く大会になったと思います。三重県には、これだけの大きな企画を成し遂げられる素晴らしいMSWがたくさんいること、「MSWがここにあり！」と誇りを持っている方々の背中を頼もしく、後ろから拝見していました。 何かお役に立てればとの思いから、気軽に企画に参加させていただきましたが、とてもとても考えが甘かったです。皆様の思いやパワーは、すさまじいもので素晴らしい大会でした。僅かながらではありますが、大きな企画に携わることが出来たこと、お声かけ頂いた皆さまに感謝と盛大な喝采をお送りします。有難うございました。

会場・運営		藤田医科大学 七栗記念病院 落合 幸太郎（リーダー）
		この度、全国大会の開催に際し、ご登壇や実行委員、サポーター、ご協賛寄付等で参加を頂きました皆様に感謝と御礼を申し上げます。交通の便や宿泊施設の数で懸念があった中で、大盛況に終えることができたのは、何よりご支援を頂きました皆様のご尽力の賜物で御座います。会場統括を拝命してから、大分大会の視察を始め、何度も打ち合わせがありました。しかし大会前日まで調整が続いていた次第です。サポーターの皆様にはご案内が直前となったうえ、大会当日に役割変更や時間延長をお願いするなど、ご迷惑をお掛けしました。また、ご希望の講演に参加できなかった方もいらっしゃる事を存じております。それでもサポーターを快諾頂き、臨機応変にご対応を頂きましたことは運営側としては大変心強く思いました。皆様のお力添えを頂きましたこの大会は、全国のMSWの皆様から「良い大会だった」とお声を頂きました。皆様にもそのようなお声が届いていれば嬉しく思います。 私は2日間で58,485歩。歩いた数だけ、皆様の笑顔と苦勞を感じた2日間でした。この度のご支援、誠にありがとうございました。
会場・運営		岡波総合病院 山本 小百合（副リーダー）
		大会を終えて 大会長、実行委員長、副実行委員長はじめ、みなさま本当に本当にお疲れ様でした。 私自身としては、心踊る体験に感謝の思いでいっぱいです。当日までの準備や当日の準備や運行は全て初めての体験、みんなて一つのことをやり遂げようとする空気感、他機関の方々のお人柄に触れたことなど…どのシーンも新鮮でワクワクしました。この大会に携われたことを心から感謝いたします。みなさまありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。
会場・運営		伊勢赤十字病院 脇海道 友美
		「大会の裏側を楽しみました！」 私は第一会場の会場・運営を担当で、本番近くになって短期集中で臨む感じでした。 「普段は関わりの少ないメンバーとも一緒に大会を作り上げられた喜び」、「学生時代を思い出すような楽しい感覚」、それはまるでジェットコースターのようなワクワクとドキドキが満載で、大会の裏側を存分に楽しみました。みんなの意外な一面やすごい特技も見られて驚き感動もいっぱいでした。 私自身も懇親会で晴れてご当地アイドルデビューを果たすこともできました(笑)一丸となって取り組んだ今回の大会を通して全国のみなさんに三重県のかわいいところをしっかりとご披露できたのではないのでしょうか。このような大会に、実行委員として貴重な経験をさせていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。
会場・運営		寺田病院 勝又 広志
		大会を終えて、まずは大きな事故もなく無事に終了できたことに安堵しております。多くの方の支えがあったからこそその大成功ではないかなと感じております。皆様、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。画面を通じて人と繋がる時代に疲れており、今回のように人と生で繋がれたと言うとことに心地よい疲れを感じておりました。それを知の最先端の場で仲間と共有できたことが至福のひと時でありました。今回、味わったこの幸福を県協会の多くの仲間に体験して頂けるよう今後も理事として頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
会場・運営		市立伊勢総合病院 落合 伸也
		大会当日は会場係として、第4会場の運営に携わせていただきました。 大きなトラブルもなく、全日程を無事に終えることができ、学会運営という貴重な経験をさせていただきました。
会場・運営		岡波総合病院 峠 友昭
		シャトルバス係として2日間対応させていただきました。主に午前中は津駅構内でシャトルバス乗り場までの誘導、帰りはエントランスでの誘導を担当させていただきましたが、お越しいただいた方から「お疲れ様です。」「ありがとうございます」とねぎらいの声を多くいただき、そのたびに自然と笑顔で対応できたと思います。準備段階から関わらせていただき、不安が大きくなる中迎えた当日でした。ひやひやする時間もありましたが、終わってみれば楽しい2日間を過ごすことができました。皆様本当にお疲れさまでした。そしてこのような大会に関わらせていただきありがとうございました。
会場・運営		名古屋医療センター 前田 明香弥
		三重大会のご盛心心よりお祝い申し上げます。 三役、理事、コアメンバーの方々におかれましては、3年にも及ぶ準備お疲れ様でした。学会の運営に携わるのは初めてだったため、私にとってまたとない機会となりました。会場のリーダーとして至らない点がたくさんあったと思います。準備から当日にかけて、想定外のことがいくつかありましたが、スタッフや参加者のみなさまに支えていただいたお陰で、無事に終えることができました。たくさんの方と出会い、全国の方の話を聞く中で、学びの多い時間となりました。自分の成長にも繋がる貴重な経験をさせていただいたこと、みなさまに心より感謝いたします。

会場・運営		桑名市総合医療センター 叶田 寛人
		三重県で日本医療ソーシャルワーカーの全国大会が開催されるとかがい、私にも何かできることはないかと発起し、実行委員追加募集にて、加入いたしました。どのメンバーも、この大会の準備に尽力してきたことですが、実行委員だけでなく、当協会員やサポーターとして参加いただいた方が、普段の業務や他団体での業務をこなし、時間が限られる中で、一人ひとりができることを行った結果、当日は大きなトラブルもなく、大盛況で終えることができたと思っております。私自身、三重県医療ソーシャルワーカー協会への加入が昨年のごとで、若輩者でしたが、この大会を通じて、ご活躍されるみなさまと知り合えたことで、知見を広げることができたと感じております。この大会が、成長のきっかけとなったことは言うまでもありませんが、この貴重な機会をばねに、みなさまとより深く連携を図ってまいりたいと思いますので、これからもよろしくお願いいたします！
会場・運営		三重病院 岡野 敏之
		2日間シャトルバス担当として参加しました。電車でいらっしゃる皆様が三重県に来て最初に出会う大会スタッフはシャトルバス担当ですので、6名の担当者で力を合わせてお迎えさせていただきました。三重交通のスタッフの柔軟なご対応もあり、当日は大きなトラブルなく順調にバスを運行できホッとしたところです。当日に至るまでの三重交通との打ち合わせでは(もちろん当日も)桑名市総合医療センターの叶田さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。
会場・運営		小山田記念温泉病院 米沢 直子
		はじめましての方々ばかりでしたが、ソーシャルワーカーと言う共通点があるからか、皆様のお人柄なのか、自然と打ち解けることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、大会を成功させたい。と言う同じ目的を持つことで、サポーターの方含め自然と団結力が生まれていて、改めて人の力はすごいなと感じました。実行委員の一員としての活動は微力なものでありましたが、大会に参加できてとても楽しかったです。貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
会場・運営		小山田記念温泉病院 林 あかね
		今回大会に参加し、たくさんの医療ソーシャルワーカーの方と交流を持てたこと、実行委員として少しでも大会を支えるサポートができたことにとても喜びを感じています。正直自分が実行委員として貢献できるのか、本当に役割を担って大丈夫なのかと不安もありました。しかし相談・連携業務を常に行っているソーシャルワーカー同士だからこそ、予定外の出来事が起きてても対応ができ、成功に繋がったことがたくさんあったのではないかと感じました。また、やっぱり自分は人と関わることが楽しく、好きなんだと改めて実感する時間になりました。
会場・運営		いしが在宅ケアクリニック 吉川 晴子
		全国大会を終えて、まずは関係者の皆様や参加いただいた皆様にお礼を申し上げると同時に、三重県でもできた！！という、驚きと感動、感謝の気持ちで一杯です。自分が理事の頃には全国大会なんて夢にも思っていませんでした。ですからそれを積極的に引き受け、きっちりやり通した三重県協会の現理事の皆様には尊敬の念を抱かずにはいられません。本当にお疲れ様でした。私も一応実行委員のはしくれとして参加させていただけたこと、また東海4県企画の在宅医療分野におけるMSWの活動についてのシンポジウムで発表させていただき、他県の様々なMSW実践について学び、共感することができたことが、自分の財産になったと心から感謝しています。また懐かしい他県の方々との再会もあり、貴重な機会となりました。みんなで力をあわせれば何とかなる！ 何でもできる！ ということが証明されましたので、今後とも会員みんなで力をあわせ、協会活動を盛り立てていきましょう。
会場・運営		いしが在宅ケアクリニック 長谷川 洋美
		実行委員の会議や全国大会当日を通して、電話でしか話したことがなかったMSWや、遠方のため普段関わることもなかったMSWと話をする機会が一気に増え、三重県内のMSWとたくさん顔見知りになったことは、私にとって大きな財産となりました。MSWの全国大会に参加するのも初めて、という実行委員と知り合えた時には、私だけではなかったんだ、と心強く思いました。 大会が終わってからも「全国大会ではお世話になりました！」と電話でやりとりをした時には、距離が一気に縮まったように感じ、実行委員をして良かったとしみじみ思いました。 三重県での全国大会の開催に向けて、ずっと準備に取り組んでみえたコアの方々の熱い思いには、本当に頭が下がる思いでいっぱいです。貴重な経験、感動を本当にありがとうございました。
広報・情報		長島中央病院 水野 智史（リーダー）
		実行委員だった皆さんも、それぞれの「ソーシャルワーカーって」を価値とし、地域医療に戻られている事かと思います。三重大会では、普段と違う組織のリーダーをさせていただき、人の思いを汲む事を改めて学ばせていただきました。メンバーの皆さんには、そんな気づきの機会をくれた事、そして広報としての役割を最後まで共に出来た事に感謝申し上げます。次は実行委員長主催の打ち上げで会いましょう！

広報・情報		長島中央病院 小川 綾美
		三重大会が終了し、安堵する気持ちと、ああしておけば良かった、あれはもっとこうすれば収益UPが狙えたのではないかと後悔や反省の気持ちが入り混じった結果になった大会でした。しかし、一緒に広報部会として活動を共にした方々との絆は深くなったように感じています。また、広報リーダーの水野さんが先陣切ってチームを引っ張ってくださったので大きな不安なく大会に参加することができました。そして、コアメンバーの方々はもっともっと念密なスケジュールで企画、運営を考えて下さり頭が下がる思いです。微力ながら、自身も実行委員会として参加ができたことはとても大変貴重な体験でしたし、次回三重大会が開催されることがあれば、ぜひ参加したいと思います。皆様ありがとうございました。
広報・情報		岡波総合病院 亀内 美侑
		この度、広報部会のバスらせ部隊リーダーという大役を仰せつかりました。主にインスタグラムへ週2回、三重の魅力を発信してまいりました。投稿している際は、皆様のお役に立つ情報を発信できているか自信がありませんでしたが、大会当日に実際にフォローしていただいている方にお会いしたり、投稿を見ているとお声掛けいただいたり、実際のお声を聞くことができました。今回の大会で他府県の方に三重の魅力を感じていただくことができ、今までの投稿は役に立つ投稿だったのだと自信につながることもできた大会でした。MSWとして学びを得られ、そして他病院の方との連携もでき、まさに人とのつながりを体験できた大会だったと感じております。
広報・情報		岡波総合病院 安本 圭吾
		今回の大会への参加は、私にとって初めての学会でありイベントに運営側で参加させて頂くのも初めての経験でした。当日は広報として物販や会場写真の撮影といった活動をさせていただいたのですが、6月20日までの約一年間、実行委員の皆様と対面やリモートでの会議を通じて大会が少しずつ形になっていく過程に立ち会えたことが1番の収穫であったと感じています。普段、対院外のソーシャルワーカーと出会う機会は少ない中で今回のような機会はMSW一年目の自分にとって刺激になり明日も頑張ろうと思える活力になりました。特に広報部会ではキャリアを超えて近い距離で共同させて頂き、多くのことを楽しく学ぶことができました。生涯で一回しかないかもしれないこの三重県での大会に携われたことは本当によかったと感じています！
広報・情報		岡波総合病院 井上 茉耶
		今大会では、広報実行委員として、物品準備とシンポジウム等の撮影に携わりました。日々の業務だけでは味うことができない心強む2日間でありました。全国のソーシャルワーカーの方々とお話できる機会をもつことができ、各講演者の医療ソーシャルワーカーとしての信条に触れ、現在自分ができることは何か、どうすればその人らしい生活が送れるかを常に考えて動けるようなソーシャルワーカーになりたいとより一層感じました。今後とも、大会の表題である「変わらない価値を引き継ぐ」ということを忘れず業務にあたり、皆様のお役に立てるよう精進していきたいと思いました。
広報・情報		岡波総合病院 松田 崇志
		昨年の10月から広報部会の一員として取り組み、報連相の必要性や目標に向けてチームの士気を高めることの必要性などを学んだ。キャリアがそれぞれ違う中で他院のメンバーへ役割を依頼することを躊躇したこともあったが、悩みを相談すること、相手を知ることによって解決できることがあることを学んだ。今大会で得た県内外のソーシャルワーカーとのつながりを大切にしていきたいと思っています。実行委員になれて本当に良かったです。ありがとうございました。
広報・情報		三重中央医療センター 林 眞砂子
		「実行委員やりませんか」 初めて全国大会に参加したのは3年前の東京大会でした。そこには全国から向上心と情熱をもったMSWが集結し大学時代の恩師が登壇され懐かしく感動的な時間でした。三重県のMSWの方々とがんばってくださいという気持ちでメンバーに加わり翌年は大分へ忍者の恰好で「三重大会へぜひ」と走り回り、そこから1年。皆で創りあげる全国大会そんな思いを胸にテーマ決めから研修内容もコアメンバーが中心となり業務の多忙なか、企画力 段取り力に何度も感動しました。もしかちゃんという名前を採用してもらえ、MSWが「もしかしたら…」と最善の道を探して伴走するイメージでしたが、グッズ販売も広報部で担当させていただき、もしかちゃんに愛情を感じている自分がいまいました。広報部として写真撮影などもあり研修では講師の話を最前列で聞かせていただき、MSWの実習について「当院の実習はディズニーランドより楽しいです」との話を驚き。当院が夢の国のようなホスピタリティが実践出来たらと思いはせました。懇親会のダンサーズの事もよくわからないまま、「協力するする！」と返事をし、人生初のダンスに挑戦でき1年分くらい練習で大笑いしたり、仕事では見えない顔をたくさん見せ合いつことでそれも幸せな時間でした。ソーシャルワーカーになれて中学からの夢を叶えられ、困難な事もMSWの仲間がいること、これからも乗り越えられると思える方々に改めて大会を終えて感謝でいっぱいです。
広報・情報		小山田記念温泉病院 福岡 涼
		私は部会への出席率も高くなく、大した武功もあげられないまま大会が終了してしまいましたが、普段することがない経験や出会いがあり、とても味わい深い2日間をすごくことができましたと思いました。今終わって感じるていることはもう少し頑張りたかった、もう少し皆さんと関わりたかったという後悔と終わってしまっって寂しいなということです。その中でも特に寂しいなという思いは強く、また機会があればぜひ一緒ににかしらの活動をしてみたいなと思いました。正直、大会終了が寂しいなという思いを自分が抱いたということ意外に思っています。それだけまた皆さんにお世話になったということ、またお会いしたいという思いが強いのだろうと思います。2日間楽しかったです。ありがとうございました！



会場設営は素早く丁寧に



緊張感の中、会場説設営



初日いよいよ受付！



交流会も満員御礼



交流会でハイチーズ！



シャトルバス誘導、暑い中頑張りました。



バス誘導終わってからの達成感たら。



三重大会グッズも大好評



休憩中も笑顔！



自称公認ご当地アイドル！



サポーターの方々にも感謝



フォトスポットの前で



広報メンバーもフォトスポットの前で



大会終了後に集合写真



最高のメンバーでした！



コアメンバー

協会トピックス おすすめ図書

『親子は生きづらい“トランスジェンダー”をめぐる家族の物語』

著 者：勝又 栄政 / 出版社：金剛出版



今回お勧めする本は、三重大会でも講演いただいた勝又栄政さんの書籍です。女性として生まれた作者が心と体が一致しないことで苦悩や葛藤を抱えながら今までどう生きてきたかについて丁寧に内省感情を綴った自叙伝です。わたし自身、自分が女性であることになんの疑問を持たずに今まで生きてきました。そこに、もし違和感を感じてしまったらなんて考えたこともありません…。

ハレの日は両親に女の子としておめかしさせてもらい、入学式のランドセルは赤、制服はスカート。両親は周囲の人はそれを喜んでくれるのに、幼少期から違和感を感じていた…。自分自身がこう生きたいと思う道を進もうとすると、自分の大切な人や愛する人を苦しめてしまう…。そう感じていたと著書には書かれています。こころとからだ一致しないことで、こんな苦しみがあるものなのかと感じました。読み始めるとどんどん引き込まれ、追体験のような感覚で、辛くなったり、安堵したり。ただたくさん辛いことの中にも友だちや恋人との楽しい時間があったことに読み手も救われます。

お母さんの視点で書かれた部分もありリアルな親子関係が垣間見られ、同じ時間軸で体験している出来事も当事者と親という立場ではそれぞれが葛藤する感情は入れられない部分があることを知ることができます。それでも子供の選択をなんとか受けようとする母親の気持ちには、母の底知れない深い愛を感じます。

多様性を重視と言いながら、一方では自分と違った価値観に対する寛容性のなさをもたらす現代社会の闇。その闇の中でも光を見つけることを諦めず、前向きに生きようとする勝又さんの真摯な生きざまに多様性の時代と言われる今を生きるひとりの人として一つの生き方の価値を学ぶとても良い機会になる1冊だと思います。

その上で医療ソーシャルワーカーとしては何ができるのか、価値を模索するきっかけにもなると思います。今回の三重大会のテーマにもぴったりの1冊です。ぜひ多くの方に読んで頂きたいです。絶対おすすめです。（文責：松田美穂）

新加入会員紹介

今年度に入会されました方のご紹介です。皆さまどうぞよろしくお願いします。



野呂 幸穂
鈴鹿総合病院

この度6月に開催された全国大会をきっかけに入会させていただきました。地域の皆様に信頼される療養病床を支えるため知識や多職種との繋がりを増やしていきます。よろしくお願いいたします。



西村 健二
鈴鹿総合病院

福祉現場から医療現場へと移り、何もかもが新鮮で楽しい毎日です。これまでの知識と技術、ネットワークも活かしつつ、新しいことを学んでいきたいです。趣味は旅と歴史です。みなさん、よろしくお願いいたします。



泊 若菜
三重大会医療部附属病院

昨年11月に三重大会医療部附属病院に入職しました。これからソーシャルワーカー協会で様々なことを学び、成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



桂原 時弥
岡波総合病院

4月からMSWとして入職しました。約3か月間、MSWの業務を経験して日々、この仕事の責任感や奥深さを実感しております。今後は経験を重ね、多くの患者様と関わり、退院後の生活をしっかりとサポートできるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



岸本 円
鈴鹿総合病院

1月から鈴鹿総合病院に入職しました。これまでは高齢者介護、障害福祉サービスの生活支援員としていたので、初めての医療分野で緊張も強く戸惑うことも多いですが、先輩方にならって日々研鑽していきたいと思っています。



濱田 帆夏
遠山病院

4月からMSWとして入職しました。濱田です。医療福祉分野が初めてで、まだまだ分からないことだらけですが、先輩方に支えていただきながら日々学んでいます。一人前のMSWになれるよう精進しますのでよろしくお願いいたします。

今後の研修・イベント案内

■2025年初任者研修

日時：8月2日(土)
会場：七栗記念病院

日時：10月4日(土)
会場：鈴鹿回生病院

日時：12月13日(土)
会場：津市久居アルスプラザ

※詳細については協会から届くご案内を参照してください。
ご参加お待ちしております。



編集後記

三重大会が終わって、すでに1か月が過ぎました。準備期間は想像以上に大変で、毎日毎日早く終わればいいと思っていました。実際終わってみるとあっという間の2日間で、今となっては夢や幻だったんじゃないかと思っています。でも大会が終わってからの自分の世界は確実に広くなり、新たに医療ソーシャルワーカーの価値について考えるようになりました。気が付けば知らない間に、この経験から多くのものを享受していたことを気づかされます。参加された皆さんはいかがですか。今後は違う形で皆さんと関わりながら、三重県協会の仲間として一緒に成長していきましょう。そうすることで、三重大会は一人一人の中で、より一層素敵な思い出として心に残るはずです。担当：小坂・松田

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページ <http://www.mie-msw.com/>
事務局 小山田記念温泉病院
〒512-1111 四日市市山田町5538-1
☎059(328)1260